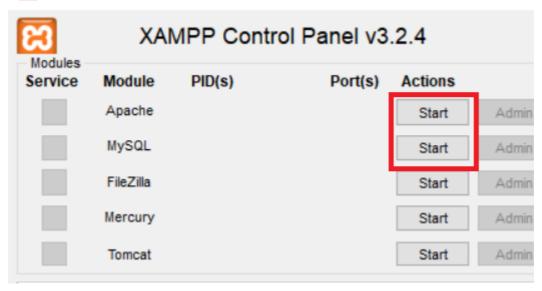
SQL 資料 1 - phpMyAdmin の操作

新規 DB 作成

■ サーバの起動

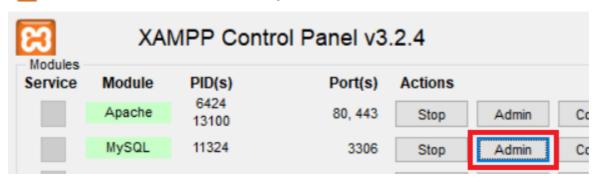
XAMMP Control Panel の**Apache**と**MySQL**それぞれの start ボタンを押して Apache と MySQL を起動する。

XAMPP Control Panel v3.2.4 [Compiled: Jun 5th 2019]



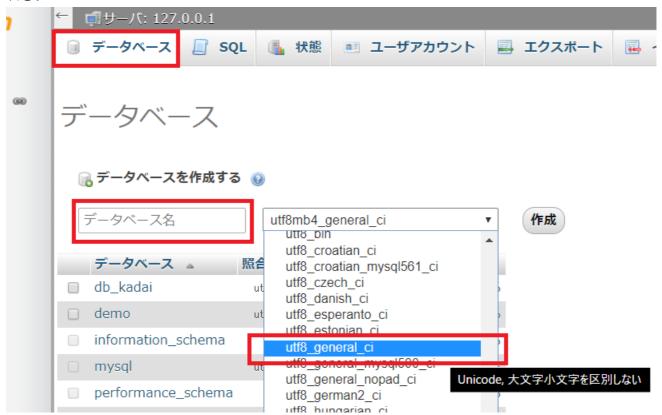
MySQL の Admin ボタンを押すとブラウザで phpMyAdmin が開く。

XAMPP Control Panel v3.2.4 [Compiled: Jun 5th 2019]



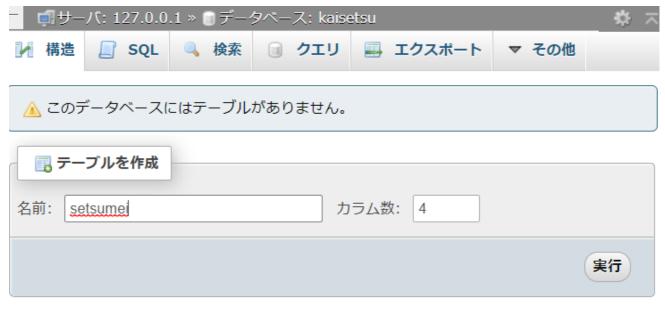
phpMyAdmin のページの「データベース」をクリックするとデータベース管理画面に遷移する。

任意の DB 名を付け、文字コード「utf8_general_ci」を選択して作成ボタン押下で新規 DB が作成される。



■ テーブルの追加

任意のテーブル名と任意のカラム数を指定して、実行ボタン押下でテーブルが追加される。 カラム数 の後からでも設定できるため、現時点ではそこまで気にしなくてよい。



■ カラムの追加

適宜必要な設定を行い、保存するボタン押下でカラムが追加される。



よく使うデータ型

データ型名	型の種類
INT	整数型
FLOAT	浮動小数点型
VARCHAR	可変長文字型

NULL

「ヌル」あるいは「ナル」と読み、データが入力されていないことを表す。 そのカラムが NULL を許可するかの設定は、phpMyAdmin では必須入力(NOT NULL)がデフォルトになっており、NULL のチェックボックスで設定する。

オートインクリメント

オートインクリメントを設定するとデータを新規追加した際に自動的に「現在格納されている最大の値 +1」の数値が入る。 主に被りのない連番を付けたい場合に利用する。

プライマリキー

プライマリキー(主キー)とは登録したデータのうち、特定の一つのデータを示すもの。 ID のような オートインクリメントを設定したカラムをプライマリキーに設定することが多い。 phpMyAdmin では オートインクリメントのチェックボックス「A_I」にチェックを入れると自動的にプライマリキーの設定ウィンドウが出てくるようになっている。



実行 キャンセル

DB の設定変更方法

Apache と MySQL のサーバが起動していることを前提とする。

■ テーブルやカラムの追加

左側のツリー状メニューからそれぞれの項目の「新規作成」をクリックすると作成画面に遷移する。



■ カラムの設定変更

- 2 通りの方法を説明する。
 - 1. 左側のツリー状メニューから項目名をクリックした後「構造」をクリックする。



2. テーブルの「構造」ページにある表から操作したい項目をクリックする。



phpMyAdmin で SQL を実行する

上部メニューの「SQL」をクリックすると SQL 入力画面に遷移する。



- ® なし © EUC © SJIS
- 全角力ナに変換する

DB のエクスポートとインポート

エクスポートで DB のバックアップファイルを出力し、そのファイルをインポートすることで元と同じ DB を作成できる。

■ エクスポート

ひとつの DB そのものをエクスポートする場合、左側のツリー状メニューなどから DB を選択し、「エクスポート」をクリックするとエクスポート画面に遷移する。



オプションの設定はそのままでよい。「実行」ボタンを押下すると sql ファイルがダウンロードされる。

データベース "db_kadai" からテーブルをエクスポート
エクスポート方法:
● 簡易 - 最小限のオプションだけ表示○ 詳細 - 可能なオプションをすべて表示
フォーマット:
SQL ▼
エンコーディングへの変換:
● なし ○ EUC ○ SJIS
□ 全角力ナに変換する
実行

何度もエクスポートとインポートを繰り返す予定がある場合、テーブル名の重複によるエラーが予想される。 それを回避するにはエクスポート時のオプションを変更するとよい。以下に手順を示す。

1. 「エクスポート方法」ラジオボタンを選択して簡易から詳細に変更する。

2. 「生成オプション」の「DROP TABLE...」にチェックを入れる

このオプションを設定することで、生成したいテーブルと同名のテーブルが既に存在するならば、一度 既存のテーブルを消去してから改めてテーブルを生成するようになる。

■ インポート

上部メニューの「インポート」をクリックするとインポート画面に遷移する。 「ファイルを選択」ボタンを押下するとエクスプローラーが開く。そこでエクスポートしたファイルを選択し、「実行」ボタンを押下することでインポートが行われる。

◎ データベース	☑ SQL	₲ 状態	르 ユーザアカウント	■ エクスポート	🛺 インポート	
現在のサーバへのインポート						
インポートするファイル:						
ファイルは圧縮されていないもの、もしくは、gzip, bzip2, zip で圧縮されているもの。 圧縮ファイルの名前は .[フォーマット].[圧縮形式] で終わっていること。例: .sql.zip						
アップロードファ	イル: ファ	イルを選択	選択されていません (塩	晨長: 40MiB)		
ファイルを任意のページにドラッグアンドドロップすることもできます。						
ファイルの文字セ	ツト: utf-8	3	v			
部分インポート:						
■ 制限時間が近くなったときに、スクリプト側でインポートを中断できるようにする (大きなファイルをインオートを中断できるようにする) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルを介) (大きなファイルをインオートを中間を含まる) (大きなファイルを介) (大きなアイルを介) (大きなア						
先頭から数えたスキップするSQLクエリの数: 0						
その他のオプション:						
☑ 外部キーのチ	- エックを有効	かにする				